

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第117号（7.3.6） 2025年度保育・教育予算の増額を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神戸市の全ての子供が保育施設に入所できるようにすること。 2. 保育士や放課後児童支援員の処遇を改善すること。 3. 神戸市の責任で、早急に1歳児の保育士配置基準を改善すること。 4. 神戸市独自で全ての子供の保育料等の無償化を行うこと。 5. 保育・教育の質を充実させるために、神戸市の単独補助を増額すること。 6. 自治体が責任を持つ公立保育所、公立幼稚園をこれ以上減らさないこと。
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 岡 富美子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

3 6
2025年2月7日

神戸市議会議長 坊 やすなが様

神戸市保育運動連絡会

代表 岡 富美子 ~~他 5,821 名~~ 岡 富美子

神戸市中央区

電話

2025年度 保育・教育予算の増額を求める陳情書

私たちは、神戸市に住むすべての子ども達が健やかに成長出来ることを願い、運動をすすめてきました。今年4月、76年ぶりに4・5歳児の職員配置基準が見直されましたが、さまざまな制約があり完全実施といえるものではありません。全国どこからでもアプリ予約ができる「こども誰でも通園制度」の創設もかかげられています。しかし、この政策は、子どもの発達を保障し安心安全の中で生活できる少子化対策にはほど遠いものです。

子どもに関わる職員不足も深刻です。公立でも民間でも正規職員が配置できず、短時間勤務職員で穴埋めをするというパッチワークのような保育運営を余儀なくされています。保育施設は、年間300日1日11時間以上子どもたちの安全を守る場所です。保育の仕事に希望が持てない、保育士を仕事に選ばないという人が増えています。このままでは、保育士不足で子どもの安全が守れません。賃金の改善と同じくらい問題なのが余裕のない職員配置基準です。最低基準の職員配置では、事務時間も休憩や休暇も保障できません。安全を守る正規職員が配置できなければ、少子化対策事業も安全な事業になりません。

今こそ、さらなる配置基準の改善や保育士の処遇全般を見直すことが、子どもの権利を守り本当の意味の少子化対策にもつながります。

子どもたちのための予算を大幅に増やし神戸市の責任で、だれもが安心できる保育環境の改善が出来るよう以下について要請します。

陳情項目

- 1、神戸市のすべての子どもが保育施設に入所できるようにしてください。
- 2、保育士や放課後児童支援員の処遇を改善してください。
- 3、神戸市の責任で、早急に1歳児の保育士配置基準を改善してください。
- 4、神戸市独自ですべての子どもの保育料等の無償化を行ってください。
- 5、保育・教育の質を充実させるために、神戸市の単独補助を増額してください。
- 6、自治体が責任を持つ公立保育所、公立幼稚園をこれ以上減らさないでください

以上